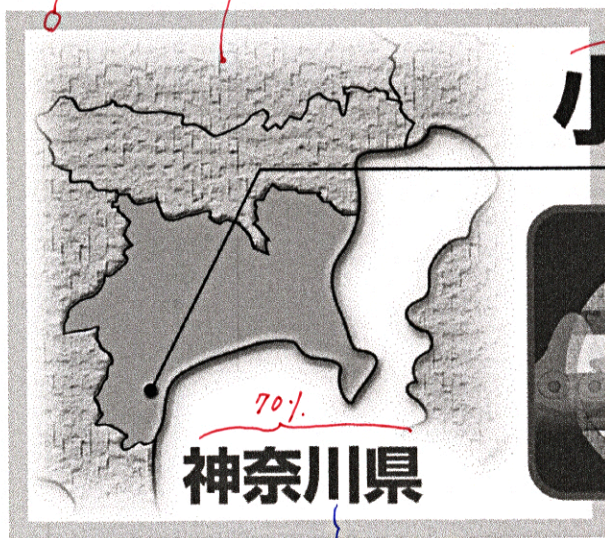


0.2ミリケイ・ベタ
252^ミ↑
178^ミ2.5ミリケイ・20%
70^ミ↑
80^ミkanagawa-02.tif
51%に縮小 x21ミ
Y21ミ80% x92.5ミ 50a 新3B

流用

小田原市 *diary*

市立小田原病院 DATA

・病床数：417床
・手術室数：8室
・年間麻酔科管理：3244例
(2023年)

写真2 曾我梅林



小田原市立病院は1958年に開院し、地域の医療を守ってきました。施設の老朽化が進んだため2026年春に新病院が開院する予定です。現在、麻酔科常勤は専門医9名で、年々手術件数が増加しています。手術室は8室で、グレードA用の部屋を除き、常時6～7列が稼働しています。症例はほぼすべての科が揃っており、レポートに富んでいます。各外科系の医師はさまざまな大学病院から派遣され数年ごとに入れ替わり、その都度術式や使用機械も変更されるため、1箇所にながら新しいものに触れることができるのは魅力の一つです。当院は急性期病院で、緊急手術も多く日中は忙しいですが、各科の協力もあり、ほとんどの症例は定時で終了します。麻酔科スタッフは全員が病院採用で、出身大学や学年は異なりますが、皆仲が良く雰囲気もとても良いです。重症例の検討はもちろんのこと、互いに手技を教え合い、新しい麻酔関連機器の情報などはすぐに共有しています。新病院の開院にあたり手術室数を増やすので、一緒に楽しく働ける仲間を募集する予定です。

小田原市は神奈川県西部に位置する人口18万人の都市で、城下町として栄えました。東京駅から新幹線で33分の距離にある港町で、鰻をはじめとする海産物が有名です。小田原駅前には魚屋が多く、移動販売も市内各所で見られます。

早川漁港に行けばさらに新鮮な魚介類を堪能でき、特にオスメなのがアジフライです。身がとてもふっくらしていて軽くて甘みがあるので、ぜひ一度試してください。そのほか、小田原の特産品である蒲鉾や干物の有名店も多く、お土産には困りません。

個人的に毎年楽しみにしているのは節分の日の恵方巻きで、この日は小田原の有名店である「漁港の駅 TOTOCO 小田原（小田原市早川1番地の28、0465-20-6336）」が海鮮恵方巻きを病院まで届けてくれます。新鮮な魚介がこれでもかと詰め込まれているため値は張りますが、とても美味しいです。一緒に販売される小田原漁港プリムも魚型のゼリーがかわいらしく、一緒に買っています。

私は小田原市立病院に勤務して3年目で、オフタイムには小田原探検をしています。散歩が趣味で、朝や帰りに小田原城に行くこともあります（写真1）。小田原城にはさまざまな植物が植えられていて、春は桜や梅、夏は菖蒲に紫陽花、秋は紅葉のほか金木犀の香り、冬は銀梅や山茶花と、四季折々の花々を楽しめます。そのほか、あちこちに歴史の跡地があり、見所がたくさんあります。そして2月には小田原梅まつりが開催されます。曾我梅林では35000本もの梅の木が見頃を迎えます（写真2）。この機会にぜひ小田原に遊びに来てください。



写真1 早朝の小田原城

11a M4g BBB 小田原市立病院 麻酔科 今井 桃花